

第18回波止場てつがくカフェ

笑ってはいけない、 のはどうして？

悲しみといわず、苦しみといわず。およそこの世にあるあらゆるものを「笑い」飛ばしてしまうほど、「笑い」は私達の日常に「楽しみ」をもたらす活力を養う、もっとも基本的な欲求であると言えます。

一方、社会では、笑うことがためられる場面や、それを「ネタ」にすることが適切ではないと理解されている物事があります。特に、個人や特定の集団の文化、風習、身体的特徴などを笑いの対象とすることは、時に「差別」であると非難の対象とされることも。

それはイジメなのか、「イジリ」なのか。差別なのか、「ネタ」なのか。ある人にとってはすごく面白い「ネタ」が、別の誰かにとっては不愉快、あるいは、深刻に尊厳を脅かすものとなってしまうこともあります。

人を楽しませ、朗らかにさせるものが同時に、人を傷つけ、分断するものにもなる。これほどまでに私達を翻弄する「笑い」とは、一体何なのでしょう？

それが「笑ってはいけない」とされるのは、果たしてどのような経緯によるものなのでしょう？
どうして私達は「笑いたい」、あるいは「笑って“しまう”」のでしょうか？

「笑ってはいけない」ということを通じて、「笑い」とはそもそもどのようなことなのか、考えてみたいと思います。

- 日時：1月27日（土）14時～
- 場所：大崎駅近くの巨大施設
- 集合：13時40分にJR大崎駅南改札口付近
⇒事前申し込みをしていない方はご利用下さい
- 参加費：無料（カンパ歓迎）
- 申し込み⇒hatoba.de.dialogue@gmail.com



波止場てつがくカフェ
twitter: @hatoba_dialogue
web: hatoba-de-dialogue.net